

# ちば里山新聞

(第23号)  
 編集 発行 ちば里山センター  
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148  
 電話 0438-62-8895  
 題字 倉島 貴浩  
 (ワークホーム里山の仲間たち)

## 特定非営利活動法人 ちば里山センター

— 平成22年3月2日法人登記を完了しました。 —

# 第7回 ちば里山フェスティバル 開催

5月18日は「里山の日」です。

千葉県里山条例が施行された日を記念して決められたものです。「里山の日」にちなみ、「ちば里山フェスティバル」を開催します。5月の企画は、親子で田舎に親しむ里山体験です。

親子（18才以下の子どもとその保護者が対象）

- 開催日時 平成22年5月15日（土）10時～15時
- 会場 森の時計・自然工夫塾（安房群鋸南町市井原）
- 集合 現地集合（別途ご案内します。）
- 体験内容 ①竹林整備と竹細工づくりの里山活動体験 ②地元食材の収穫体験
- 参加費 500円/人 定員 30名
- 主催 ちば里山フェスティバル実行委員会（森の時計・自然工夫塾 NPO法人ちば里山センター・(社)千葉県緑化推進委員会 千葉県他)
- 共催 鋸南町
- 問い合わせ先：NPO法人ちば里山センター TEL0438(62)8895  
 ホームページ <http://www.chiba-satoyama.net/>  
 応募者多数の場合は抽選となります。



## 里山シンポジウム

2010年テーマ 里山と都市  
—まちづくりと生物多様性の保全—

- 開催日時 平成22年5月16日（日）10時～17時
- 会場 和洋女子大学 西館1-4教室
- 内容 座談会・分科会  
連続ミニ講演  
「都市部の里山・里海・里川は今…」
- 主催 里山シンポジウム実行委員会  
千葉県・NPO法人ちば里山センター  
(社)千葉県緑化推進委員会
- 共催 市川市・和洋女子大学  
後援 (予定)松戸市・船橋市・野田市・流山市・我孫子市
- 問い合わせ先：里山シンポジウム  
実行委員会事務局 TEL03(3824)6071(荒尾方)  
ホームページ <http://www.satochiba.jp>

# 平成21年度 里山活動事例発表会開催される

平成22年3月7日（日）場所 ちば里山センター 参加者60名



ちば里山センター会員・企業・一般県民・行政関係者・学生などが一堂に集まり里山活動事例発表、意見交換の場として、開催されました。

事例発表は南房総市・四街道市・千葉市・白子町各地で活動をされている、1. 里山保全「自然塾」 榛澤清氏 2. 竹研究会 田代武男氏 3. 緑の環・協議会 奥山淳氏 4. 九十九里海岸の松林を守る会 石谷栄治氏 が発表を行いました。イノシシの問題・竹の問題・里山再生の問題・海岸線の保全の問題と日ごろの取り組みを熱く語られ、その後のグループ討議に繋がりました。グループ討議は「里山の嫌われ者」・「ちばの里山ビジネスと里山団体の継続と自立」・「里山活動場所の多様化と里山と体験学習」の3つに分かれ最後に夫々のグループでどのような討議がされたのかをグループ代表者が報告発表し、終了いたしました。

## 1. 里山保全「自然塾」



## 2. 竹研究会



## 3. 緑の環・協議会



## 4. 九十九里海岸の松林を守る会



# 3分科会と千葉県里山基本計画(案)説明

## 里山の嫌われ者 竹・イノシシ



○竹の活用について、アイデアは出るが実用化していくのにさまざまな問題があり、難しいという現状を知った。若者もどんどん参加していくことで解決に役立てるべきだと思った。

○山間地域についてはイノシシ対策が大きな問題である。その問題点については、今後更に話し合う必要がある。

## 千葉の里山ビジネス 活動団体の継続と自立



○団体と企業の結びつきを生かして、都市住民とのつながりが持てるような、観光体験型が出来ればいいな！と思った。それには問題点として、各団体のフィールドに大型バスの駐車場やトイレの問題があり、クリアするのは難しいと思った。

## 里山活動場所の多様化 里山と体験学習(環境教育)



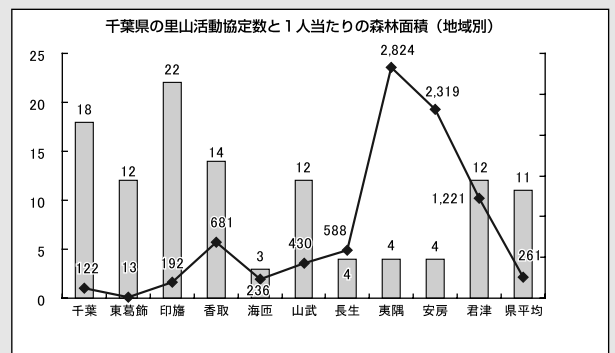
○千葉県の森を良くするにはとても大事なことで、素敵なことだと思いました。更に学校との繋がりも深めていくことは良いことだと思います。

○話を聞いて、市や県の補助金制度について申請方法が面倒だと思った。その面倒についても議論されており、現場の思いも同じなのだと感じると同時に現場の人たちに分かりにくい制度では意味が無いのではないかと感じた。学校では聞けない生の声が聞けて良かった。

## 千葉県里山基本計画(案)説明



○里山基本計画案に盛り込まれた項目に、里山活動の現状や里山を取り巻く課題の地域性を踏まえた施策の重点化や、里山活動団体の自主・自立がありました。分科会のテーマにもありましたが、里山活動の新たな考え方が、私たちにも求められていると感じました。



ちば里山センター  
運営委員会

# 初めての活動地開催

## 運営委員会開催

会場 森の時計・自然工夫塾  
とき 平成22年3月18日

### 主な議題

- 22年度里山フェスティバルについて
- 特定非営利活動法人ちば里山センター略称について  
NPO法人ちば里山センターとする。
- 里山新聞について  
会員活動予定欄を設ける。
- ちばの里山づくり事業プレゼン報告等



## ちば里山センター会員団体の[今後の行事予定]



4/4	カタクリ観察会（風呂の前里山保存会）	4/10	お話と自然観察・古代米の種まき（千葉環境情報センター）
4/12	里山整備・タケノコ掘り（炭友会）	4/16	整備作業と樹木観察会（上総里山会）
4/17,18	谷津田のお米作り（上総自然学校）	4/17,18	春野食べ物食べ頃キャンプ（千葉自然学校）
4/18	たけのこパーティー（SaToYaMa よくし隊）	5/4	レンゲ刈り（谷当グリーンクラブ）
5/8,9	下草刈り・植栽（ふれあい千葉）	5/15	平塚の里下草刈・枝打ち（NPOしろい環境塾）
5/22	千の苗・植林プロジェクト（緑の環・協議会）	4～5月	野路つみ取り体験（里山保全自然塾）

※詳細については、ちば里山センターホームページをご覧ください。  
※お問い合わせ：ちば里山センター TEL：0438-62-8895



## ちば里山センター会員団体の会員募集



### 果樹園とプレーパーク 整備ワークショップの会員募集

年会費 3,000円(入会金なし) さんむ・アクションミュージアム(代表 木下)

## あしがき

寒さも和らぎ、里山にも桜の便りが聞こえるようになりました。

ちば里山センターでは今年度の事業も会員の皆様のご協力のもと無事終了いたしました。

ありがとうございました。

4月からは、新たにNPO法人ちば里山センターとして事業に取り組み、里山新聞も会員の皆様や一般の方々への情報発信のひとつとして、少しずつ変化していこうと思っています。

つきましては、会員の皆様にアンケートのご協力をお願いすることがありますのでその時には忌憚の無いご意見やご要望をお寄せください。よろしく申し上げます。(A)